

60【街の散策からの気づき発見】

大落古利根川工事お知らせ看板とかわまちづくり計画

会員 K.T.

大落古利根川の遊歩道で河川工事のお知らせの看板に気づいた。
 「ご協力をお願いします。デッキ・スロープをつくっています。
 令和8年10月20日頃から令和9年3月31日頃まで デッキ・スロープをつくる工事を予定しています。」「休工中」

発注者 埼玉県総合治水事務所

受注者 金杉建設株式会社

『どんな工事をするのだろうか?』、とネットで調べると、春日部市と国土交通省関東地方整備局河川部のホームページに「春日部市大落古利根川かわまちづくり計画」が、掲示されていた。
 「(前略)春日部市の都市計画マスタープランでは、まちづくりの方針として大落古利根川を『水の軸』と定義し、市民が水辺とふれあうことができるよう、親水空間の整備を図るとしており、これまでも埼玉県と連携し、広場として活用できる親水護岸などの整備を進めてきました。(後略)」、とある。計画によると、新町橋・古利根公園橋・春日橋・埼葛橋の約800m間で(1)～(11)の整備をする、とのことだ。

「県整備:(1)(右岸)公園橋・春日橋間でのスロープ整備

(2)(右岸)公園橋アンダーパス及び張り出し遊歩道整備

(3)(右岸:埼葛橋付近)キッチンカースペース整備

(4)(右岸:埼葛橋付近)スロープ整備

(5)(右岸:埼葛橋付近)船着場兼川床テラス整備

(9)(左岸)新町橋から埼葛橋の遊歩道整備

(10)(左岸の埼葛橋付近)高水敷整備(水辺広場)

市整備:(6)(右岸):電気工事(キッチンカースペース)

(7)(右岸):水道工事(キッチンカースペース)

(8)(右岸):掲示板(キッチンカースペース)

(11)(右岸&左岸)親水域ライトアップ照明」、とあった。

4号線の埼葛橋から春日橋・駅前通りの公園橋・旧日光街道の新町橋までの大落古利根川を挟んだ両岸が親水公園になるイメージだ。『これはいい親水空間になる。』、と思う。『あれ? 工期予定は明記されているのに「休工中」と、表示しているのは何故?』、と思った。『工事の準備調査はやっています、という意味だろうか?』、と気になったが、『何か調整しているのだろうか。』、との解釈に留める。

ここは、私の好きな散歩コースの一つだが、人通りは少ない。川沿いの日中は日除けがなく、夕方は薄暗いので、女性や子供達には、散歩コースとしては好まれないのだろう。また、公園橋では遊歩道が道路橋で遮断され、子供達や年配者達が車の往来を避けて横断しているのを見かける。『あぶないなあ』、と気になっていた。遊歩道がアンダーパスで連続すれば安全対策になる。『会報 03 大落古利根川沿い遊歩道』で、「リバーサイド公園構想」のアイデアを妄想しているが、これが概ね、実現しそうな感じがした。子供達が川に親しめる場所ができることは、素晴らしいことだ。気になったこともある。近年の温暖化による日射対策である。水辺広場や休憩場所には直射日光を避けるための日除けを作って欲しい。それと、親水域一周約1.7kmの安全と防犯対策だ。地域自治会や警察と連携し、安全パトロール等を考えてもらいたい。駅から700mと近く、子供達が安全に走り回れ、親も安心して遊ばせられる水辺の自然空間は、都会にない癒しの空間になる。



河川工事お知らせ看板



新町橋から 左岸風景



水辺活用計画/国土交通省



新町橋から 右岸風景



埼葛橋付近・右岸風景



公園橋から 右岸風景



埼葛橋付近・左岸風景



公園橋・水辺広場



公園橋から 左岸風景



公園橋/少し壊れた日除け